



学校教育目標：自ら学び、人・物・自然を大切にする心豊かな子どもの育成

学校経営目標：地域に愛され、一人ひとりの児童が生き生きと輝く、明るく活気に満ちた学校づくりを推進する

今年度の取り組みについて（生活編）

今回は、生活面で特に重点的に取り組んでいく2つのことについて説明します。

1つめは、挨拶です。昨年度の学校評価アンケートの「挨拶についての項目」で、「わたしは、進んで気持ちのよい挨拶をしている」と肯定的な回答をした子どもが79%いました。また、「家の人は、進んで挨拶をするように声をかけてくれる」については85%の子どもが肯定的な回答をしています。この結果から、子どもたちは、挨拶をしないといけないことは分かっているのですが、十分できていないと思っていますようです。恥ずかしいという理由や、「もっとよい挨拶ができるはずだ」と思っているのかもしれませんが。理由はどのようなであれ、まだまだ伸びしろがあると思っています。

毎朝校門のところで見守り隊の方と一緒に挨拶をしています。大きく会釈をする子や大きな声で挨拶をする子などいろいろです。目を合わせてはっきりした声であいさつができている子には「いい挨拶ですね」と声をかけたり、名前を聞いて後で担任の先生に伝えたりしています。まずは、我々大人が子どもたちの手本となって、挨拶をしていきたいと考えています。そして、挨拶をしようとしている子をしっかり認め、ほめることが大切であると思っています。

現在、学校では「あいさつ級表」を作成中です。習い事の段級などと同じように、どのような挨拶ができるようになればよいのかを具体的な姿で子どもたちに示すとともに、挨拶上達の目安にしてほしいと考えています。「あいさつ級表」ができましたら、紹介します。

2つめは、自己肯定感についてです。昨年度の学校評価アンケートの「自分には、いいところがある」についての肯定的な回答は78%でした。私としては、もう少し、高くなってほしいと思っています。そこで、昨年まで取り組んでいた、友達のよいところを見つけ合うグッドビヘイビアカードの取組を引き続き行いたいと思います。

今年度はそれに付け加えて「自分ほめ日記」も行っています。子どもたちは、1日の終わりに自分のよかったことや頑張ったことを連絡帳に書いています。毎日続けることが大切なので、子どもたちには当たり前なことでもかまわないと伝えていきます。私も実際に行っていましたが、毎日書き続けていくうちに、自然に自分のよかったところや頑張ったところに目が向くようになっていきました。そして、自分のことが好きになっていきました。自分のことが好きでないと、友達を大切にすることはできません。まずは、自分のことが好きな子になってほしいと思っています。

今年度の箭田小学校の重点的な取り組みについて学習面・生活面に分けて説明しました。もちろんこれ以外にもいろいろな取組を行っていききたいと考えています。ご協力の程、よろしくお願い致します。

